

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉障害者福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 3,264人(前年度比 167.0%) ・令和3年度 1,954人(前年度比 82.9%) ・令和2年度 2,358人(前年度比 52.0%)	
	《事業》 ○貸館事業:障害者の自主的な活動及び障害者の福祉に関する市民の自発的活動のための施設の提供その他の援助 ○障害者の福祉に関する講習会の開催その他福祉に関する啓発活動 ○障害者福祉センターの運営管理	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 699千円 (744千円) ・ その他市が負担した費用 6,655千円 (440千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 利用団体アンケート・主催講座参加者アンケート・利用報告書の御意見欄等を通し改善に取り組み、その結果を館内の掲示板に公開している。事業運営については、挨拶、応対・説明、身だしなみ、施設の清潔さ等の観点でアンケート調査を実施しており、回答者の半数以上が「満足以上」と回答しており、利用者からは概ね高い評価を受けている。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	協定書及び仕様書に則り適切な管理運営がなされていると評価できる。設置目的や運営の基本方針を館内に掲示し、職員の定期的な打合せにて目的・方針の共有を図っている。同一建物内にある地区社協の支援センターと連携しながら、各種講座の開催やボランティア活動の支援等を通じて障害者福祉の普及に向けた活動を行なっている。	24/24
II 施設の運営管理体制	計画に基づいた人員配置のもと適切な運営がなされており、経理についても定期的な点検が行われている。災害時に備え周辺施設と合同で訓練が実施され、有事の際の連携体制がとられている。パソコンのセキュリティ用ワイヤーでの固定や文書の施錠による書庫管理を徹底する等、管理体制の強化を図っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	同一建物内にある社会福祉センターと連携し、点検簿を用いて定期的な建物・設備の確認を行っている。館内で節電や節水に努めるとともに、周辺施設と連携しながら、緑化活動も積極的に取り組んでいる。	24/24
IV サービスの質の向上	接遇研修を通じてマナー向上に努めており、パンフレットやセンターだよりの定期的な発行、社会福祉センターと連携し利用団体への相談会の開催を通じて、利用しやすいセンターとなるよう取り組んでいる。 日々のミーティングで情報共有・情報交換を図り、業務手順書の整備と見直しが行われ全職員が一貫した認識を共有できる体制を整えている。	28/28
V 施設固有の基準	音声案内を設置する等、障害者も利用しやすくなるよう施設の維持管理を行っている。ボランティアを対象とした講習会や、障害者のみに限定しない手話教室等を開催し、終了後にはアンケートを実施し、今後の講習会につなげる工夫がなされている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>令和4年度は、以下の4点を重要事業として取り組んだ。</p> <p>1 在宅障害者の利用率の向上 施設の貸館や自主事業を通して、地域の障害者や福祉団体の活動を支援するとともに各種機関と連携して取り組んだ。また、施設内の無線LANを活用していただき、利用者の利便性の向上及び情報発信の機会を提供した。</p> <p>2 障害者を支援する人材の育成 障害者福祉に関わるボランティア活動の充実を図るため、併設の仙台市泉社会福祉センターと共催の各種講座や教室修了者への情報発信等を通して、サークル活動の支援や登録団体のボランティア活動マッチング、行事や活動時のボランティアの受け入れなどに努めた。</p> <p>3 地域の障害者施設や事業所との連携強化 地域の関係団体との情報共有や連携による包括的な支援体制の構築を目指すため、泉ぬくもりの里内の施設と定期的な会議を設け、情報共有及び環境美化活動等の協働に努めた。また本会泉区事務所のCSWと連携し、地区社協が開催するサロン活動等ヘレクレーション器具の貸し出し等を行い、センターのPRに努めた。</p> <p>4 視覚障害者に対する理解促進のための取り組み 自立訓練（機能訓練）事業において、視覚障害対象の機能訓練を開始するにあたり、職員間で視覚障害のある方へ配慮が必要なこと等の申し合わせを行い、施設内の環境改善に取り組んだ。視覚障害の方が利用する動線にある扉には、音や光で出入りが分かるように鈴の取付や照明の設置を行った。また自動販売機等の点字の更新を行い、利用しやすい環境づくりに努めた。市民向けには、機能訓練紹介用リーフレット作成の際に、視覚障害者対象の機能訓練（白杖歩行訓練）の様子を掲載した。職員研修として、iPhone操作研修（視覚障害の方が使用する機能を学ぶ）を4回行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に則り適切な管理運営がなされていると評価できる。</p> <p>施設のPRに努めたり利用者用無線LANの提供等の利便性の向上を図る取組により、利用者の増加につながっていると評価できる。</p> <p>手話講座等の開催等を通じて障害福祉に関わる人材育成に積極的に取り組んでいる点や、災害時に備えて福祉避難所の開設に向け地域住民や周辺施設と連携した取り組みを進めている点、また社会福祉協議会のネットワークを活かし近隣の施設・関係者と連携し講座の企画や合同研修の実施に努めるなど、地域の障害福祉の拠点施設としての役割を果たしていると高く評価できる。</p> <p>視覚障害者が利用しやすい環境整備に努め、職員に対する研修も行っていることも評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課